授業科目	動物形態機能学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	136　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	栗田　千裕　実務経験: 動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標

動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を知り、動物体の構造と機能について学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容

①	形態機能概論①	⑱	外部環境からの防御
②	形態機能概論②	⑲	情報の受容と処理
③	犬と猫の体の構造と機能①	⑳	感覚と情報伝達
④	犬と猫の体の構造と機能②	㉑	外部環境からの防御①
⑤	鳥の体の構造と機能	㉒	外部環境からの防御②
⑥	ウサギの体の構造と機能	㉓	情報の受容と処理①
⑦	産業動物の体の構造と機能	㉔	情報の受容と処理②
⑧	犬と猫の骨格系	㉕	感覚と情報伝達①
⑨	循環器の構成	㉖	感覚と情報伝達②
⑩	心臓の生理的機能	㉗	からだの支持と運動①
⑪	抹消循環器系の構造	㉘	からだの支持と運動②
⑫	血液の循環の調整	㉙	栄養の消化と吸収①
⑬	リンパとリンパ管	㉚	栄養の消化と吸収②
⑭	呼吸器の構造	㉛	内臓機能の調整①
⑮	呼吸器系の働き	㉜	内臓機能の調整②
⑯	呼吸系の病態生理	㉝	体液の調整と尿の生成①
⑰	血液	㉞	体液の調整と尿の生成②

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	各種動物の体の構造や名称、役割などを学習する。
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第１巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物繁殖学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	北川　智美		実務経験: ペットショップ／ショップスタッフ		

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
犬や猫の生殖器の構造と機能、性行動及び発情・交尾・妊娠・分娩の過程を学ぶ。ペットに適正な繁殖についても学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
この科目では、一般的なコンパニオンアニマルである犬・猫を中心に講義を行う。 それぞれの繁殖生理を理解し、動物種による違いを学ぶ。					

授業計画・内容	
①	繁殖とは
②	生殖とその分類
③	生殖器の分類と仕組み①(雄の生殖器)
④	生殖器の分類と仕組み②(雌の生殖器)
⑤	生殖活動に関連するホルモン
⑥	性成熟と発情周期①(犬／周年繁殖動物)
⑦	性成熟と発情周期②(猫／季節繁殖動物)
⑧	排卵(自然排卵と交尾排卵)
⑨	自然交配と人工授精
⑩	妊娠(妊娠期間・妊娠診断)
⑪	分娩①(出産準備・出産兆候)
⑫	分娩②(自然分娩)
⑬	分娩③(難産の徴候と対策)
⑭	分娩④(帝王切開)
⑮	出産後の母犬の管理・新生子の管理
⑯	先天異常(形態的な奇形・遺伝性疾患)
⑰	避妊と去勢
評価方法	①出席率・受講態度　　②定期試験結果
受講生に対するメッセージ	一般的なコンパニオンアニマルである犬や猫の繁殖生理を理解するという事は、望まない繁殖を防ぐ事にも繋がる。ペットオーナーに説明出来るように理解を深めて貰いたい。

教科書・参考書・資料・参考文献	参考資料／必要に応じて資料を配布

書名：最新版　愛犬の繁殖と育児百科／著者：小川雄一／出版社：株式会社誠文堂新光社／出版年：2013 年
書名：犬の繁殖と育児がわかる／著者：小川雄一／出版社：株式会社誠文堂新光社／出版社：2010 年
書名：「動物看護コアテキスト　第 1 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物病理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	石垣恭平 実務経験:動物病院／獣医師、水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
生理機能の障害からどのように病気が発生し、どのように変化し、どのように回復するかを理解する。また病変の特徴や分類、名称、検査方法、専門用語を理解する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容	
①	動物病理学概論
②	細胞障害①　壊死とアポトーシス
③	細胞障害②　物質と沈着
④	循環障害①　充血とうっ血
⑤	循環障害②　血栓、止血、塞栓と栓塞
⑥	循環障害③　ショック
⑦	退行性病変
⑧	進行性病変
⑨	炎症①　変性と滲出
⑩	炎症②　炎症の種類
⑪	先天異常
⑫	免疫異常①　免疫反応と担当細胞
⑬	免疫異常②　アレルギー型
⑭	腫瘍①　総論
⑮	腫瘍②　転移と佐生×
⑯	腫瘍③　良性と悪性の違い
⑰	腫瘍④　肉腫と癌腫
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	将来動物病院で勤務する際に犬猫の病気を病理学的な側面から理解し、検査や処置の意義を理解したうえで行うことができるようにする

教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物薬理学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	栗田千裕 実務経験: 動物病院／動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
獣医師が処方する薬剤について、その薬理作用や取り扱い、保存方法を習得し、服薬指導について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容			
①	総論　薬理学とは	⑱	おもな薬剤の特性③
②	総論　薬理学とは	⑲	おもな薬剤の特性④
③	総論　薬理学とは	⑳	おもな薬剤の特性⑤
④	薬物の剤形①	㉑	おもな薬剤の特性⑥
⑤	薬物の剤形②	㉒	おもな薬剤の特性⑦
⑥	薬物の投与方法とその特徴①	㉓	おもな薬剤の特性⑧
⑦	薬物の投与方法とその特徴②	㉔	おもな薬剤の特性⑨
⑧	薬物の投与方法とその特徴③	㉕	おもな薬剤の特性⑩
⑨	薬物の投与方法とその特徴④	㉖	おもな薬剤の特性⑪
⑩	薬物動態①	㉗	おもな薬剤の特性⑫
⑪	薬物動態②	㉘	薬用量の計算①
⑫	薬物動態③	㉙	薬用量の計算②
⑬	薬物に影響を与える因子①	㉚	薬用量の計算③
⑭	薬物に影響を与える因子②	㉛	薬用量の計算④
⑮	薬物に影響を与える因子③	㉜	総まとめ①
⑯	おもな薬剤の特性①	㉝	総まとめ②
⑰	おもな薬剤の特性②	㉞	総まとめ③

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物感染症学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野　恵理子		実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標
動物に感染する微生物や寄生虫の特徴や生活環境、感染経路、症状について学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容	
①	感染・感染症とは
②	感染症の種類
③	感染の成立
④	微生物と病原性微生物
⑤	細菌学
⑥	細菌性感染症①
⑦	細菌性感染症②
⑧	ウイルス学
⑨	ウイルス性感染症①
⑩	ウイルス性感染症②
⑪	真菌と真菌性感染症
⑫	原虫と原虫性感染症
⑬	寄生虫学
⑭	内部寄生虫性感染症①
⑮	内部寄生虫性感染症②
⑯	外部寄生虫性感染症①
⑰	外部寄生虫性感染症②
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	感染性微生物の特徴を理解し、感染経路、発生機序、予防法を学ぶ。その大切さを飼い主に伝えられるようにする。

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物看護学概論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子		実務経験: 動物病院／動物看護師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
小動物医療における動物看護師の職域を確立するため多岐にわたる獣医師の業務を理解し、動物看護技術を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
講義の授業を中心とする。					

授業計画・内容	
①	動物看護の基本概念①
②	動物看護の基本概念②
③	動物看護の基本概念③
④	動物看護の基本概念④
⑤	動物看護の基本概念⑤
⑥	動物看護の基本概念⑥
⑦	動物看護の提供体制①
⑧	動物看護の提供体制②
⑨	動物看護の提供体制③
⑩	動物看護の提供体制④
⑪	動物看護の提供体制⑤
⑫	動物看護の提供体制⑥
⑬	愛玩動物看護師の社会的立場①
⑭	愛玩動物看護師の社会的立場②
⑮	愛玩動物看護師の社会的立場③
⑯	愛玩動物看護師の社会的立場④
⑰	愛玩動物看護師の社会的立場⑤
評価方法	①出席率・受講態度　　②定期試験結果
受講生に対するメッセージ	獣医師の業務を知ることで、動物看護師として、または動物に携わる者としての知識と技術を身に付ける。

教科書・参考書・資料・参考文献	参考資料／必要に応じて資料を配布

書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物医療関連法規		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子		実務経験: 動物病院・研究所／獣医師、研究員		

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師が行う獣医療関連業務とそれを取りまく法律の仕組みを理解し、法令順守の精神と動物関連の法令を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師	単独		
講義の授業を中心とする。					

授業計画・内容	
⑱	動物医療関連法規　概要
⑲	法律に基礎知識
⑳	動物にかかわる法規①
21	動物にかかわる法規②
22	動物にかかわる法規③
23	獣医師法①
24	獣医師法②
25	愛玩動物看護師法①
26	愛玩動物看護師法②
27	狂犬病予防法①
28	狂犬病予防法②
29	家畜伝染病予防法
30	愛玩動物用飼料の安全性の確保に関する法律
31	動物の愛護及び管理に関する法律①
32	動物の愛護及び管理に関する法律②
33	身体障碍者補助犬法
34	条約関連（ラムサール条約、ワシントン条約）
評価方法	①出席率・受講態度　　②定期試験結果
受講生に対するメッセージ	動物関連の法律等を知ることで、看護師として、または動物に携わる者としての常識を身に付ける。

教科書・参考書・資料・参考文献	参考資料／必要に応じて資料を配布

書名：「動物看護コアテキスト　第２巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	公衆衛生学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野　恵理子		実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標

公衆衛生の基本的な考え方を理解し、人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生などについて学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容

①	公衆衛生学　概論
②	人獣共通感染症　概論
③	人獣共通感染症の伝播様式と予防対策
④	動物由来の主な人獣共通感染症
⑤	ウイルスによる人獣共通感染症①
⑥	ウイルスによる人獣共通感染症②
⑦	ウイルスによる人獣共通感染症③
⑧	細菌による人獣共通感染症①
⑨	細菌による人獣共通感染症②
⑩	細菌による人獣共通感染症③
⑪	真菌による人獣共通感染症①
⑫	真菌による人獣共通感染症②
⑬	寄生虫による人獣共通感染症①
⑭	寄生虫による人獣共通感染症②
⑮	滅菌について
⑯	消毒について
⑰	動物防疫
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	将来動物病院で勤務する際に衛生面で注意するべきことを理解し、飼い主への飼育・衛生管理指導に活かすように学習する。

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	人間と動物の関係学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	菅谷　花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標
人間と動物の関係の歴史を理解し、人間と動物の関係性と動物介在療法などを学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容	
①	人間と動物との関係の起源
②	動物介在の歴史　海外
③	動物介在施設の歴史
④	乗馬療法の歴史
⑤	動物介在についての実験と結果
⑥	動物介在の歴史　日本
⑦	動物介在の分類
⑧	世界の組織①（TDI、SCAS、AFIRAC）
⑨	世界の組織②（PetPartners 協会）
⑩	IAHAIO について
⑪	「人と動物に関する国際会議」の歴史①
⑫	「人と動物に関する国際会議」の歴史②
⑬	日本の組織（JAHA 他）
⑭	介在活動等に用いる動物①　犬
⑮	介在活動等に用いる動物②　猫
⑯	介在活動等に用いる動物③　鳥、ウサギ　他
⑰	動物が及ぼす心理的・生理的・社会的効果
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	人間の医療においても動物が携わる機会が増えたり（動物介在療法）、特定施設の人々の生活の質を上げることに動物が求められることもあります（動物介在活動）。

教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第 6 巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	生命倫理・動物福祉		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子　実務経験: 動物病院／動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物愛護や動物福祉の発展を学び、動物関連法規や人との関りから動物福祉への精神を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容

①	「福祉」その言葉の意味	⑱	動物福祉の考え方①
②	動物福祉の歴史①	⑲	動物福祉の考え方②
③	動物福祉の歴史②	⑳	動物福祉の考え方③
④	動物福祉の歴史③	㉑	伴侶動物の福祉①
⑤	日本における動物福祉①	㉒	伴侶動物の福祉②
⑥	日本における動物福祉②	㉓	伴侶動物の福祉③
⑦	日本における動物福祉③	㉔	動物病院における福祉①
⑧	５つの自由①	㉕	動物病院における福祉②
⑨	５つの自由②	㉖	動物病院における福祉③
⑩	HAB の認識①	㉗	産業動物の福祉①
⑪	HAB の認識②	㉘	産業動物の福祉②
⑫	HAB の認識③	㉙	産業動物の福祉③
⑬	生活の質の認識①	㉚	実験動物の福祉①
⑭	生活の質の認識②	㉛	実験動物の福祉②
⑮	生活の質の認識③	㉜	実験動物の福祉③
⑯	環境エンリッチメント①	㉝	野生動物の福祉①
⑰	環境エンリッチメント②	㉞	野生動物の福祉②

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第１巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物行動学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	栗田　千裕 実務経験: 動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物の行動について、特に犬の習性について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。この授業で学んだことを活用しながら、日々のパートナードッグとの接し方に結びつけて経験を積んでいく。					

授業計画・内容	
①	犬とはどんな動物か（習性と本能）
②	リーダーシップの必要性と方法
③	子犬期の接し方①
④	子犬期の接し方②
⑤	犬の五感
⑥	しつけの意義
⑦	犬の性格、性質に合ったトレーニング方法
⑧	馴致
⑨	分離不安①原因と症状
⑩	分離不安②予防と対処
⑪	犬の表現①吠え声
⑫	犬の表現②表情
⑬	犬の表現③ボディーランゲージ
⑭	カーミングシグナル
⑮	犬の攻撃性の原因別分類
⑯	権勢症候群の予防法
⑰	権勢症候群の対処法
評価方法	学期末試験の内容と出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	この授業では『犬をトレーニングするためには、まず犬の事を理解すること』をテーマに学んでいく。そもそも犬とはどんな生き物なのか？を学ぶ事で、人も犬も無理なくトレーニングを行えるようになる。

教科書・参考書・資料・参考文献	教科書

『日本ケンネルカレッジビジネス講座　訓練オリジナルテキスト』
監修：一般社団法人日本キャリア教育技能検定協会　学校法人つくば国際ペット専門学校
書名：「動物看護コアテキスト　第 2 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	比較動物学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子		実務経験:研究所・動物病院／研究員・獣医師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標
動物が生息する環境等を産業・実験・野生・展示の観点から学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容			
①	動物の種類と特性①	35	実験動物⑧
②	動物の種類と特性②	36	野生動物①
③	産業動物①	37	野生動物②
④	産業動物②	㉑	野生動物③
⑤	産業動物③	㉒	野生動物④
⑥	産業動物④	㉓	野生動物⑤
⑦	産業動物⑤	㉔	野生動物⑥
⑧	産業動物⑥	㉕	野生動物⑦
⑨	産業動物⑦	㉖	野生動物⑧
⑩	産業動物⑧	㉗	展示動物①
⑪	実験動物①	㉘	展示動物②
⑫	実験動物②	㉙	展示動物③
⑬	実験動物③	㉚	展示動物④
⑭	実験動物④	㉛	展示動物⑤
⑮	実験動物⑤	㉜	展示動物⑥
⑯	実験動物⑥	㉝	展示動物⑦
⑰	実験動物⑦	㉞	展示動物⑧

評価方法	学期末試験の内容と出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	様々な環境にいる動物の歴史や現状を知ることで、人間にとっての有用性と存在意義が分かります。
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書・参考書

書名：「動物看護コアテキスト　第 2 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	適正飼養指導論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座晶子　　実務経験：動物病院／動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
健常な動物に必要な日常ケアと適正飼育方法を理解し、訂正飼育指導、説明方法を学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容			
①	愛玩動物の飼養①	⑱	災害危機管理と支援②
②	愛玩動物の飼養②	⑲	災害危機管理と支援③
③	愛玩動物の飼養③	⑳	災害危機管理と支援④
④	愛玩動物の飼養④	㉑	災害危機管理と支援⑤
⑤	愛玩動物の飼養⑤	㉒	災害危機管理と支援⑥
⑥	愛玩動物の飼養⑥	㉓	災害危機管理と支援⑦
⑦	愛玩動物の飼養⑦	㉔	災害危機管理と支援⑧
⑧	愛玩動物の飼養⑧	㉕	動物愛護管理行政①
⑨	適正飼養の推進①	㉖	動物愛護管理行政②
⑩	適正飼養の推進②	㉗	動物愛護管理行政③
⑪	適正飼養の推進③	㉘	動物愛護管理行政④
⑫	適正飼養の推進④	㉙	動物愛護管理行政⑤
⑬	適正飼養の推進⑤	㉚	動物愛護管理行政⑥
⑭	適正飼養の推進⑥	㉛	動物愛護管理行政⑦
⑮	適正飼養の推進⑦	㉜	動物愛護管理行政⑧
⑯	適正飼養の推進⑧	㉝	動物愛護管理行政⑨
⑰	災害危機管理と支援①	㉞	動物愛護管理行政⑩

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	愛玩動物の品種の特性を理解し、それぞれの適正飼育方法を学んでいきます。
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第６巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物愛護・適正飼養関連法規		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子　　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ペットとしての動物の特性を見極めたうえでの飼養方法を法律、条約等に沿って学びます。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容	
⑨	愛護・適正飼養の基本概念①
⑩	愛護・適正飼養の基本概念②
⑪	愛護・適正飼養の基本概念③
⑫	愛護・適正飼養の基本概念④
⑬	愛護・適正飼養関連行政法規①
⑭	愛護・適正飼養関連行政法規②
⑮	愛護・適正飼養関連行政法規③
⑯	愛護・適正飼養関連行政法規④
⑨	社会福祉行政・環境衛生法規①
⑩	社会福祉行政・環境衛生法規②
⑪	社会福祉行政・環境衛生法規③
⑫	社会福祉行政・環境衛生法規④
⑬	野生動物に関する法律・条約①
⑭	野生動物に関する法律・条約②
⑮	野生動物に関する法律・条約③
⑯	野生動物に関する法律・条約④
⑰	野生動物に関する法律・条約⑤
評価方法	学期末試験の内容と出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	

教科書・参考書・資料・参考文献	教科書
書名：「動物看護コアテキスト　第 2 巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物生活環境学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	北川智美　　実務経験: ペットショップ／ショップスタッフ				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物が生活する環境や現代において増加しているペットツーリズムについて学ぶ。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容	
⑰	飼養環境整備①
⑱	飼養環境整備②
⑲	飼養環境整備③
⑳	ペットツーリズムとドッグラン①
21	ペットツーリズムとドッグラン②
22	ペットツーリズムとドッグラン③
23	保護収容施設①
24	保護収容施設②
⑨	保護収容施設③
⑩	教育・訓練施設①
⑪	教育・訓練施設②
⑫	教育・訓練施設③
⑬	動物介在教育施設①
⑭	動物介在教育施設②
⑮	動物介在教育施設③
⑯	飼育のマナーとリスク対応①
⑰	飼育のマナーとリスク対応②
評価方法	学期末試験の内容と出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	教科書
書名：「動物看護コアテキスト　第 6 巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	愛玩動物学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標

愛玩動物の歴史と品種を学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容

①	歴史と品種①	⑱	愛玩動物の飼養管理②
②	歴史と品種②	⑲	愛玩動物の飼養管理③
③	歴史と品種③	⑳	愛玩動物の飼養管理④
④	歴史と品種④	㉑	愛玩動物の飼養管理⑤
⑤	歴史と品種⑤	㉒	愛玩動物の飼養管理⑥
⑥	歴史と品種⑥	㉓	愛玩動物の飼養管理⑦
⑦	歴史と品種⑦	㉔	愛玩動物の飼養管理⑧
⑧	歴史と品種⑧	㉕	動物の基本的な取扱い①
⑨	使役動物①	㉖	動物の基本的な取扱い②
⑩	使役動物②	㉗	動物の基本的な取扱い③
⑪	使役動物③	㉘	動物の基本的な取扱い④
⑫	使役動物④	㉙	動物の基本的な取扱い⑤
⑬	使役動物⑤	㉚	動物の基本的な取扱い⑥
⑭	使役動物⑥	㉛	動物の基本的な取扱い⑦
⑮	使役動物⑦	㉜	動物の基本的な取扱い⑧
⑯	使役動物⑧	㉝	動物の基本的な取扱い⑨
⑰	愛玩動物の飼養管理①	㉞	動物の基本的な取扱い⑩

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第６巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物内科看護学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子　　実務経験: 動物病院／動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
内科診療で必要とされる動物看護師としての知識と役割について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容			
①	動物疾病看護学概論①	⑱	肝胆道系疾患①
②	動物疾病看護学概論②	⑲	肝胆道系疾患②
③	口腔内疾患	⑳	膵臓疾患
④	耳の疾患	㉑	泌尿器系疾患①
⑤	目の疾患	㉒	泌尿器系疾患②
⑥	皮膚の疾患	㉓	泌尿器系疾患③
⑦	循環器疾患①	㉔	内分泌疾患①
⑧	循環器疾患②	㉕	内分泌疾患②
⑨	呼吸器疾患①	㉖	内分泌疾患③
⑩	呼吸器疾患②	㉗	生殖器系疾患①
⑪	呼吸器疾患③	㉘	生殖器系疾患②
⑫	血液・造血器疾患①	㉙	生殖器系疾患③
⑬	血液・造血器疾患②	㉚	整形外科疾患①
⑭	血液・造血器疾患③	㉛	整形外科疾患②
⑮	消化器疾患①	㉜	神経系疾患①
⑯	消化器疾患②	㉝	神経系疾患②
⑰	消化器疾患③	㉞	神経系疾患③

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	チーム獣医療で必要な病気や診断名について学習する。治療方針や動物看護し活かすために必要な知識を学び、看護が実践できることを目指す。
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第 4 巻」　出版社　ファームプレス

書名：「伴侶動物解剖生理学」　出版社　緑書房

授業科目	動物外科看護学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子		実務経験: 動物病院／動物看護師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標

外科診療・手術において必要とされる動物看護師としての知識と役割について学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容

①	外傷・創傷管理①	②	術中補助③
③	外傷・創傷管理②	④	術中補助④
⑤	外傷・創傷管理③	④	術中補助⑤
④	外傷・創傷管理④	㉑	術後管理①
⑤	外傷・創傷管理⑤	㉒	術後管理②
⑥	術前準備①	㉓	術後管理③
⑦	術前準備②	㉔	術後管理④
⑧	術前準備③	㉕	術後管理⑤
⑨	術前準備④	㉖	救急救命①
⑩	術前準備⑤	㉗	救急救命②
⑪	麻酔①	㉘	救急救命③
⑫	麻酔②	㉙	救急救命④
⑬	麻酔③	㉚	救急救命⑤
⑭	麻酔④	㉛	動物理学療法①
⑮	麻酔⑤	㉜	動物理学療法②
⑯	術中補助①	㉝	動物理学療法③
⑰	術中補助②	㉞	動物理学療法④

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	主に手術の準備、補助、術が管理を中心に、動物看護師の役割、動きを学習します。

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第 4 巻」　出版社　ファームプレス

書名：「伴侶動物解剖生理学」　出版社　緑書房

授業科目	動物臨床看護学総論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座晶子		実務経験: 動物病院／動物看護師		

授業の概要、科目のねらい、到達目標
動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場に於いての動物看護師の役割について学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容	
①	動物看護過程の展開①
②	動物看護過程の展開②
③	動物看護過程の展開③
④	動物看護過程の展開④
⑤	動物看護過程の展開⑤
⑥	動物看護過程の展開⑥
⑦	診療記録①
⑧	診療記録②
⑨	動物看護業務①
⑩	動物看護業務②
⑪	動物看護業務③
⑫	動物看護業務④
⑬	動物看護業務⑤
⑭	動物看護業務⑥
⑮	ターミナルケア①
⑯	ターミナルケア②
⑰	ターミナルケア③
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	動物病院での動物看護師の役割を理解し、基本的な看護の知識を身につける。

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物臨床看護学各論		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	136　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野　恵理子　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場に於いての動物看護師の役割について学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容			
①	動物看護学概論①	⑱	症状別の動物看護～多飲多尿②～
②	動物看護学概論②	⑲	循環器障害を持つ動物の看護①
③	動物看護者の倫理綱領	⑳	循環器障害を持つ動物の看護②
④	動物看護の看護技術について	㉑	呼吸器障害を持つ動物の看護①
⑤	動物看護の観察	㉒	呼吸器障害を持つ動物の看護②
⑥	記録と報告	㉓	栄養摂取・代謝障害を持つ動物の看護①
⑦	症状別の動物看護～痛み①～	㉔	栄養摂取・代謝障害を持つ動物の看護②
⑧	症状別の動物看護～痛み②～	㉕	生体防御機能障害を持つ動物の看護①
⑨	症状別の動物看護～かゆみ①～	㉖	生体防御機能障害を持つ動物の看護②
⑩	症状別の動物看護～かゆみ②～	㉗	神経・運動機能障害を持つ動物の看護①
⑪	症状別の動物看護～嘔吐①～	㉘	神経・運動機能障害を持つ動物の看護②
⑫	症状別の動物看護～嘔吐②～	㉙	繁殖機能障害を持つ動物の看護
⑬	症状別の動物看護～排便異常①～	㉚	排泄機能障害を持つ動物の看護
⑭	症状別の動物看護～排便異常②～	㉛	担がん動物の看護
⑮	症状別の動物看護～食欲不振①～	㉜	高齢動物の看護
⑯	症状別の動物看護～食欲不振②～	㉝	経過に基づく動物の看護
⑰	症状別の動物看護～多飲多尿①～	㉞	周術期の動物の看護

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物臨床栄養学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子　実務経験: 動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標

動物の健康維持に必要な栄養素を学び、飼い主に対する栄養相談及び指導を行う際の基礎知識を学習する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は講義を中心とする。

授業計画・内容

①	動物栄養学総論①	⑱	ペットフードの種類
②	動物栄養学総論②	⑲	各論：尿路結石/猫下部尿路疾患
③	基礎栄養学	⑳	各論：心臓病
④	水	㉑	各論：消化器病
⑤	タンパク質	㉒	各論：腎臓病
⑥	炭水化物	㉓	各論：肝臓病
⑦	脂肪	㉔	各論：口腔疾患
⑧	ミネラル	㉕	各論：糖尿病
⑨	ビタミン	㉖	各論：食物アレルギー
⑩	犬と猫の栄養要求の違い①	㉗	各論：関節炎
⑪	犬と猫の栄養要求の違い②	㉘	各論：がん
⑫	ライフステージ別の栄養管理①	㉙	各論：脳の加齢を認知障害
⑬	ライフステージ別の栄養管理②	㉚	各論：肥満
⑭	ライフステージ別の栄養管理③	㉛	各論：甲状腺機能亢進症
⑮	ペットフードの表示の見方①	㉜	ペットフード市場①
⑯	BCS 評価とカロリー計算の仕方①	㉝	ペットフード市場②
⑰	BCS 評価とカロリー計算の仕方②	㉞	ペットフードに関する規則とまとめ

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第 2 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物臨床検査学		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	68　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	1　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田　千裕				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物病院での動物看護師の役割を理解し、基本的な検査の知識を身につけ、病院での臨床的応用可能な学習をする。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容	
①	臨床検査　概論
②	顕微鏡の名称、倍率、条件、操作方法、メンテナンス
③	糞便 の物理学性状検査
④	糞便 の顕微鏡学的検査
⑤	尿の物理学的性状検査と化学的検査
⑥	尿の顕微鏡学的検査
⑦	血液の CBC 検査
⑧	血液の生化学検査
⑨	血液塗抹検査
⑩	細胞診検査
⑪	レントゲン検査
⑫	超音波検査
⑬	心電図検査
⑭	目の検査
⑮	耳の検査
⑯	皮膚の検査
⑰	試験
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	動物病院での動物看護師の役割を理解し、基本的な検査の知識を身につける。動物臨床検査学実習で技術に応用できるように理論を理解する。
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第 5 巻」　出版社　ファームプレス
書名：「動物看護コアテキスト　第 6 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物医療コミュニケーション		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	34　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	遊座　晶子　実務経験: 動物病院／動物看護師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
ホスピタリティ精神を理解し、身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞いを身につけ、コミュニケーション能力を習得する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容			
①	接遇とは・ホスピタリティとは	⑱	質問と傾聴②
②	社会人コミュニケーション能力の基礎	⑲	質問と傾聴③
③	飼い主のお迎え①	⑳	電話対応①
④	飼い主のお迎え②	㉑	電話対応②
⑤	飼い主のお迎え③	㉒	電話対応③
⑥	飼い主のお迎え④	㉓	電話対応④
⑦	診察室への案内①	㉔	外部対応①
⑧	診察室への案内②	㉕	外部対応②
⑨	薬の説明①	㉖	外部対応③
⑩	薬の説明②	㉗	外部対応④
⑪	薬の説明③	㉘	緊急時の対応①
⑫	薬の説明④	㉙	緊急時の対応②
⑬	清算業務①	㉚	不快感情の飼い主対応
⑭	清算業務②	㉛	訪問と応対のマナー①
⑮	清算業務③	㉜	訪問と応対のマナー②
⑯	清算業務④	㉝	訪問と応対のマナー③
⑰	質問と傾聴①	㉞	深刻な場での対応

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物形態機能学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	51　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、菅谷花歩				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
講義で習得した知識の実践とし、動物の生命維持の仕組みと解剖学及び生理学の基礎を実習にて学習する。					
授業方法・形態	講義	講師			
授業は講義を中心とする。					

授業計画・内容	
①	運動器①
②	運動器②
③	運動器③
④	運動器④
⑤	内臓器官①
⑥	内臓器官②
⑦	内臓器官③
⑧	内臓器官④
⑨	顕微鏡の取扱い①
⑩	顕微鏡の取扱い②
⑪	顕微鏡の取扱い③
⑫	顕微鏡の取扱い④
⑬	組織像の観察①
⑭	組織像の観察②
⑮	組織像の観察③
⑯	組織像の観察④
⑰	組織像の観察⑤
評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	

教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第１巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物内科看護学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102 時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕 実務経験動物病院／動物看護師:、大西恵子 実務経験: 動物病院／獣医師、菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割である心療内科での補助看護技術を習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
授業は実習を中心とする。					

授業計画・内容	
①	動物看護概論
②	イヌ・ネコの保定法①　概論
③	イヌ・ネコの保定法②　横臥位・伏臥位・仰臥位・横臥位
④	イヌ・ネコの保定法③　採血時の犬の保定
⑤	イヌ・ネコのバイタルチェック・身体検査
⑥	生体の正常・異常
⑦	シリンジ・注射辛の扱い①　概論
⑧	シリンジ・注射針の扱い②　薬剤の準備・無菌操作
⑨	調剤①　概論
⑩	調剤②　処方箋・調剤用語
⑪	調剤③　薬用量の計算・調剤・分包
⑫	顕微鏡の取り扱い方
⑬	糞便検査①　概論
⑭	糞便検査②　直接塗抹法・浮遊法
⑮	尿検査①　概論
⑯	尿検査②　採尿方法
⑰	尿検査③　ペーパー試験・尿沈査・尿比重
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	診療現場で必要な観察力及び看護法に関する基本的手技を教える。受講生は授業を通して、動物病院で働くための必要な技術を習得できる。
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第 4 巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物臨床検査学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験:動物病院／動物看護師、菅谷花歩				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な検体検査及び生体検査に関する基本的手技を習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。					

授業計画・内容	
①	臨床検査　概論①目的・意義
②	臨床検査　概論②生体の観察・検査項目
③	臨床検査　概論③スクリーニング検査について
④	検体処理　概論①目的・意義
⑤	検体処理　概論②検査項目の選択
⑥	検体処理　採決方法・保存方法
⑦	検体処理　血液抗凝固材
⑧	顕微鏡　概論①各部名称
⑨	顕微鏡　概論②操作法・メンテナンス法
⑩	顕微鏡　倍率・条件
⑪	顕微鏡　スライドの管理・保管
⑫	血液検査　概論
⑬	血液検査　CBC 検査
⑭	血液検査　①血液塗抹標本
⑮	血液検査　②血液塗抹標本
⑯	血液検査　生化学検査
⑰	血液検査　輸血・クロスマッチ
評価方法	血液塗抹標本の作製による実技試験。そのほか受講態度・出席状況を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	本講義では、グループワークによって講義が進むため、受講生間の実技や理解度の差を埋めることができる。そのため評価は受講生間・教員とのコミュニケーションを重視する。他人の意見に耳を傾ける・自分の意見を発言することをこの講義を通して身につけていてほしい。
教科書・参考書・資料・参考文献	書名：「動物看護コアテキスト　第 5 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物外科看護実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験:動物病院／動物看護師、大西恵子 実務経験: 動物病院／獣医師、菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標
動物看護師の役割である外科手術での補助看護技術を習得する。

授業方法・形態	講義	講師			

授業は実習を中心とする。

授業計画・内容			
①	術前準備①	⑱	術後管理①
②	術前準備②	⑲	術後管理②
③	術前準備③	⑳	術後管理③
④	術前準備④	㉑	術後管理④
⑤	術前準備⑤	㉒	術後管理⑤
⑥	術前準備⑥	㉓	術後管理⑥
⑦	術前準備⑦	㉔	術後管理⑦
⑧	術前準備⑧	㉕	術後管理⑧
⑨	術前準備⑨	㉖	救急救命①
⑩	術中補助①	㉗	救急救命②
⑪	術中補助②	㉘	救急救命③
⑫	術中補助③	㉙	救急救命④
⑬	術中補助④	㉚	救急救命⑤
⑭	術中補助⑤	㉛	救急救命⑥
⑮	術中補助⑥	㉜	救急救命⑦
⑯	術中補助⑦	㉝	救急救命⑧
⑰	術中補助⑧	㉞	救急救命⑨

評価方法	出席状況、筆記試験を考慮して成績を評価する
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物臨床看護学実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	51　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験：研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕 実務経験: 動物病院／動物看護師、千ヶ崎みゆき　実務経験:動物病院／獣医師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
臨床現場にておいての動物看護師の役割について、実践の場で習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。					

授業計画・内容

①	動物看護　概論	⑱	輸液管理⑤　エラーコードの管理
②	動物看護の目的・意義	⑲	輸液管理　小テスト
③	動物看護の準備・心構え	⑳	輸液管理　小テスト
④	解剖生理学①　概論	㉑	シリンジ・注射針の扱い①　概論
⑤	解剖生理学②　筋・骨格	㉒	シリンジ・注射針の扱い②　無菌操作
⑥	解剖生理学③　消化器・肝臓・膵臓	㉓	シリンジ・注射針の扱い③　薬剤の準備
⑦	解剖生理学④　心臓・肺	㉔	衛生管理・入院管理①　概論
⑧	解剖生理学⑤　腎臓・脾臓	㉕	衛生管理・入院管理②　感染源の理解
⑨	診療補助①　概論	㉖	衛生管理・入院管理③　掃除
⑩	診療補助②　犬・猫の保定	㉗	衛生管理・入院管理④　入退院
⑪	診療補助③　バイタル検査	㉘	グルーミング実習①
⑫	診療補助④　身体検査	㉙	グルーミング実習②
⑬	診療補助⑤　生体の正常・異常	㉚	グルーミング実習③
⑭	輸液管理①　概論	㉛	グルーミング実習④
⑮	輸液管理②　輸液ラインの接続	㉜	グルーミング実習⑤
⑯	輸液管理③　設定	㉝	グルーミング実習⑥
⑰	輸液管理④　観察・輸液量の確認	㉞	グルーミング実習⑦

評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	即戦力として病院で働けることを目指す。動物看護学で習った知識を応用させ、技術の習得を目指す。
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス
書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス
書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物看護総合実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	187　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	2　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験：動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物病院内で想定される内科、外科そのほかの診療や検査の手順と準備、補助などを総合的に実習にて学習する。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。					

授業計画・内容	
①	動物看護業務の理解①
②	動物看護業務の理解②
③	動物看護業務の理解③
④	動物看護業務の体験①
⑤	動物看護業務の体験②
⑥	動物看護業務の体験③
⑦	動物看護業務の体験④
⑧	動物看護業務の体験⑤
⑨	動物看護業務の体験⑥
⑩	動物看護業務の体験⑦
⑪	動物看護業務の実践①
⑫	動物看護業務の実践②
⑬	動物看護業務の実践③
⑭	動物看護業務の実践④
⑮	動物看護業務の実践⑤
⑯	動物看護業務の実践⑥
⑰	動物看護業務の実践⑦
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	

教科書・参考書・資料・参考文献	書名：「動物看護コアテキスト　第 4 巻」　出版社　ファームプレス 書名：「動物看護コアテキスト　第 5 巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物臨床看護各論Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	136　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験：研究所・動物病院／研究員・獣医師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割、目的などを明確に理解し、臨床現場においての動物看護師の役割について学習する。					
授業方法・形態	実習	講師			
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。					

授業計画・内容

①	徴候や疾患の理解と対処の確認①	⑱	内分泌疾患の確認と応用②
②	徴候や疾患の理解と対処の確認②	⑲	生殖器疾患の確認と応用①
③	全身徴候の確認と応用①	⑳	生殖器疾患の確認と応用②
④	全身徴候の確認と応用②	㉑	整形外科疾患の確認と応用①
⑤	特異的徴候の確認と応用①	㉒	整形外科疾患の確認と応用②
⑥	特異的徴候の確認と応用②	㉓	皮膚疾患の確認と応用①
⑦	特異的病態の確認と応用①	㉔	皮膚疾患の確認と応用②
⑧	特異的病態の確認と応用②	㉕	神経疾患の確認と応用①
⑨	循環器疾患の確認と応用①	㉖	神経疾患の確認と応用②
⑩	循環器疾患の確認と応用②	㉗	眼疾患の確認と応用①
⑪	呼吸器疾患の確認と応用①	㉘	眼疾患の確認と応用②
⑫	呼吸器疾患の確認と応用②	㉙	造血器・免疫介在性疾患の確認と応用①
⑬	消化器・栄養代謝性疾患の確認と応用①	㉚	造血器・免疫介在性疾患の確認と応用②
⑭	消化器・栄養代謝性疾患の確認と応用②	㉛	緊急疾患の確認と応用①
⑮	泌尿器疾患の確認と応用①	㉜	緊急疾患の確認と応用②
⑯	泌尿器疾患の確認と応用②	㉝	担がん動物の看護の確認と応用①
⑰	内分泌疾患の確認と応用①	㉞	担がん動物の看護の確認と応用②

評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物内科看護学実習Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験:動物病院／動物看護師、大西恵子 実務経験: 動物病院／獣医師、菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物看護師の役割である内科診療での補助看護技術を習得する。					
授業方法・形態	実習	講師			
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。					

授業計画・内容			
①	身体検査の確認と応用①	⑱	輸液・輸血の技術の確認と応用②
②	身体検査の確認と応用②	⑲	輸液・輸血の技術の確認と応用③
③	身体検査の確認と応用③	⑳	輸液・輸血の技術の確認と応用④
④	身体検査の確認と応用④	㉑	輸液・輸血の技術の確認と応用⑤
⑤	身体検査の確認と応用⑤	㉒	輸液・輸血の技術の確認と応用⑥
⑥	身体検査の確認と応用⑥	㉓	輸液・輸血の技術の確認と応用⑦
⑦	身体検査の確認と応用⑦	㉔	輸液・輸血の技術の確認と応用⑧
⑧	身体検査の確認と応用⑧	㉕	マイクロチップ装着の技術の確認と応用①
⑨	診察補助の確認と応用①	㉖	マイクロチップ装着の技術の確認と応用②
⑩	診察補助の確認と応用②	㉗	生体検査の確認と応用①
⑪	診察補助の確認と応用③	㉘	生体検査の確認と応用②
⑫	診察補助の確認と応用④	㉙	生体検査の確認と応用③
⑬	診察補助の確認と応用⑤	㉚	生体検査の確認と応用④
⑭	診察補助の確認と応用⑥	㉛	生体検査の確認と応用⑤
⑮	診察補助の確認と応用⑦	㉜	生体検査の確認と応用⑥
⑯	診察補助の確認と応用⑧	㉝	生体検査の確認と応用⑦
⑰	輸液・輸血の技術の確認と応用①	㉞	生体検査の確認と応用⑧

評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	
書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス	

授業科目	動物臨床検査学実習Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験：動物病院／動物看護師、菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な検体検査及び生体検査に関する基本的手技を習得する。

授業方法・形態	実習	講師			

実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。

授業計画・内容	
①	検体検査手順の確認と応用①
②	検体検査手順の確認と応用②
③	検体検査手順の確認と応用③
④	検体検査手順の確認と応用④
⑤	検体検査手順の確認と応用⑤
⑥	血液検査の確認と応用①
⑦	血液検査の確認と応用②
⑧	血液検査の確認と応用③
⑨	尿検査の確認と応用①
⑩	尿検査の確認と応用②
⑪	尿検査の確認と応用③
⑫	糞便検査の確認と応用①
⑬	糞便検査の確認と応用②
⑭	糞便検査の確認と応用③
⑮	細胞検査の確認と応用①
⑯	細胞検査の確認と応用②
⑰	細胞検査の確認と応用③
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	書名：「動物看護コアテキスト　第5巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物外科看護学実習Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験:動物病院／動物看護師、大西恵子 実務経験: 動物病院／獣医師、菅谷花歩				

授業の概要、科目のねらい、到達目標
動物看護師の役割である外科手術での補助看護技術を習得する。

授業方法・形態	実習	講師			

講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。

授業計画・内容

①	術前準備の確認と応用①	⑱	術後管理の確認と応用①
②	術前準備の確認と応用②	⑲	術後管理の確認と応用②
③	術前準備の確認と応用③	⑳	術後管理の確認と応用③
④	術前準備の確認と応用④	㉑	術後管理の確認と応用④
⑤	術前準備の確認と応用⑤	㉒	術後管理の確認と応用⑤
⑥	術前準備の確認と応用⑥	㉓	術後管理の確認と応用⑥
⑦	術前準備の確認と応用⑦	㉔	術後管理の確認と応用⑦
⑧	術前準備の確認と応用⑧	㉕	術後管理の確認と応用⑧
⑨	術前準備の確認と応用⑨	㉖	救急救命の確認と応用①
⑩	術中補助の確認と応用①	㉗	救急救命の確認と応用②
⑪	術中補助の確認と応用②	㉘	救急救命の確認と応用③
⑫	術中補助の確認と応用③	㉙	救急救命の確認と応用④
⑬	術中補助の確認と応用④	㉚	救急救命の確認と応用⑤
⑭	術中補助の確認と応用⑤	㉛	救急救命の確認と応用⑥
⑮	術中補助の確認と応用⑥	㉜	救急救命の確認と応用⑦
⑯	術中補助の確認と応用⑦	㉝	救急救命の確認と応用⑧
⑰	術中補助の確認と応用⑧	㉞	救急救命の確認と応用⑨

評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	

教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物臨床看護学実習Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	102　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子　実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験:動物病院／動物看護師、千ヶ崎みゆき　実務経験:動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
臨床現場においての動物看護師の役割について、実勢の場で習得をする。					
授業方法・形態	実習	講師			
講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な臨床に関する基本的手技を習得する。					

授業計画・内容			
①	動物看護過程の実践の確認と応用①	⑱	動物看護過程の実践の確認と応用⑱
②	動物看護過程の実践の確認と応用②	⑲	動物看護過程の実践の確認と応用⑲
③	動物看護過程の実践の確認と応用③	⑳	動物看護過程の実践の確認と応用⑳
④	動物看護過程の実践の確認と応用④	㉑	入院及び栄養管理の確認と応用①
⑤	動物看護過程の実践の確認と応用⑤	㉒	入院及び栄養管理の確認と応用②
⑥	動物看護過程の実践の確認と応用⑥	㉓	入院及び栄養管理の確認と応用③
⑦	動物看護過程の実践の確認と応用⑦	㉔	入院及び栄養管理の確認と応用④
⑧	動物看護過程の実践の確認と応用⑧	㉕	入院及び栄養管理の確認と応用⑤
⑨	動物看護過程の実践の確認と応用⑨	㉖	入院及び栄養管理の確認と応用⑥
⑩	動物看護過程の実践の確認と応用⑩	㉗	入院及び栄養管理の確認と応用⑦
⑪	動物看護過程の実践の確認と応用⑪	㉘	入院及び栄養管理の確認と応用⑧
⑫	動物看護過程の実践の確認と応用⑫	㉙	入院及び栄養管理の確認と応用⑨
⑬	動物看護過程の実践の確認と応用⑬	㉚	入院及び栄養管理の確認と応用⑩
⑭	動物看護過程の実践の確認と応用⑭	㉛	入院及び栄養管理の確認と応用⑪
⑮	動物看護過程の実践の確認と応用⑮	㉜	入院及び栄養管理の確認と応用⑫
⑯	動物看護過程の実践の確認と応用⑯	㉝	入院及び栄養管理の確認と応用⑬
⑰	動物看護過程の実践の確認と応用⑰	㉞	入院及び栄養管理の確認と応用⑭

評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	

書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス

書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物看護総合実習Ⅱ		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	187　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師、栗田千裕　実務経験：動物病院／動物看護師				

授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物病院内で想定される内科、外科そのほかの診療や検査の手順と準備、補助などを総合的に実習にて学習する。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。					

授業計画・内容	
①	動物看護業務の確認と発展①
②	動物看護業務の確認と発展②
③	動物看護業務の確認と発展③
④	動物看護業務の体験と応用①
⑤	動物看護業務の体験と応用②
⑥	動物看護業務の体験と応用③
⑦	動物看護業務の体験と応用④
⑧	動物看護業務の体験と応用⑤
⑨	動物看護業務の体験と応用⑥
⑩	動物看護業務の体験と応用⑦
⑪	動物看護業務の実践と応用①
⑫	動物看護業務の実践と応用②
⑬	動物看護業務の実践と応用③
⑭	動物看護業務の実践と応用④
⑮	動物看護業務の実践と応用⑤
⑯	動物看護業務の実践と応用⑥
⑰	動物看護業務の実践と応用⑦
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書･参考書･資料･参考文献	書名：「動物看護コアテキスト　第３巻」　出版社　ファームプレス 書名：「動物看護コアテキスト　第４巻」　出版社　ファームプレス 書名：「動物看護コアテキスト　第５巻」　出版社　ファームプレス

授業科目	動物愛護・適正飼養実習		実務経験のある教員等による授業科目		
必修・選択	必修		時間数	96　時間	
科目設置学科	愛玩動物看護師	開講学年	3　年次	学期	前期・後期
担当教員	水野恵理子 実務経験: 研究所・動物病院／研究員・獣医師				
授業の概要、科目のねらい、到達目標					
動物の取扱い、飼い主とのコミュニケーション、動愛法について学習する。					
授業方法・形態	実習	講師			
実習を中心にグループワークを行う。受講生間で意見を出し合い、自分自身の臨床検査の正確さと動物看護技術の向上を目指す。					

授業計画・内容	
①	動物の基本的な取扱い①
②	動物の基本的な取扱い②
③	動物の基本的な取扱い③
④	動物の基本的な取扱い④
⑤	動物の基本的な取扱い⑤
⑥	動物の基本的な取扱い⑥
⑦	飼い主とのコミュニケーション①
⑧	飼い主とのコミュニケーション②
⑨	飼い主とのコミュニケーション③
⑩	飼い主とのコミュニケーション④
⑪	飼い主とのコミュニケーション⑤
⑫	動物愛護管理行政①
⑬	動物愛護管理行政②
⑭	動物愛護管理行政③
⑮	動物愛護管理行政④
⑯	動物愛護管理行政⑤
評価方法	授業時の課題、出席状況、受講態度を考慮して成績を評価する。
受講生に対するメッセージ	
教科書・参考書・資料・参考文献	書名：「動物看護コアテキスト　第２巻」　出版社　ファームプレス 書名：「動物看護コアテキスト　第６巻」　出版社　ファームプレス